

＜空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！＞ 2021.4.11

JAL闘争を支える京都の会 News No.72

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

伏見・大手筋でJAL不当解雇 撤回宣伝行動 「モモタロウ」宣伝 もおこない注目される

4月6日、JAL 165名を解雇したJAL稻盛会長（当時 現在JAL名誉顧問）の地元である大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動を繰り広げました。JAL闘争を支える京都の会が呼びかけ、若狭の原発を考える会や米軍Xバンドレーダー基地反対京都連絡会、憲法を生かす京都の会、9条ネット・滋賀などの市民団体やユニオンネットワーク・京都、自立労連に参加される労働者の皆さんなど17人が参加しました。JAL争議団からは神瀬麻里子さん、東京から来られた細井砂織さんの2名に参加していただきました。



大きな横断幕2本を拡げて、道行く人にハンドマイクで訴え、神瀬さんは「安全でないものには安全でない、ダメなものにはダメという組合を潰すためにJALは2010年大晦日、パイロット・客室乗務員165名の解雇をおこなった。稻盛さんはあなたの人生を、このJAL問題で汚したまま終わることのないようにしていただきたい、そのように願っている。一旦飛行機が飛び立つと警察も消防車も救急車も来ない。替わりにその役割を果たするのが客室乗務員である。経験を積んだ客室乗務員が必要である。安全より儲

(ウラ面に続く)

けの考え方方が今 J A L にはびこっており、安全が疎かにされている。日本中の労働者が働き続けられるように、この争議に負けてはならないという思いで日々がんば



っている。どうぞ私たちの運動にご理解とご協力をよろしくお願ひしたい。」と訴えました。細井さんは「私たちはお客様を安全に快適に移動していただくために力を尽くしてきた。しかし、年齢と病歴を理由として解雇された。それは許されることではない。私たちは解雇されて以降、10年以上解雇撤回のために闘ってきた。私たち J A L 争議団が全員納得できる解決がされるまで闘うのでご支援をお願いしたい。」と訴えました。

不当弾圧と闘っている連帯労組関西生コン支部の仲間は「J A L 165名を解雇し、解雇された労働者を10年以上苦しめている稻盛氏にぜひ抗議の声を上げていただきたい。私たちはこの J A L の不当解雇問題を1日も早く解決にもっていきたいと考えている。」と連帯のアピールをおこないました。



その後、争議団を先頭に、アピールしながら買い物客で賑わっていた大手筋商店街を「モモタロウ」（練り歩き）し、注目を浴びました。

次回 J A L 不当解雇撤回宣伝行動

■ 日時：5月22日（土）午後2時～3時

■ 場所：京都市京セラ美術館前

京阪「三条駅」から徒歩約16分

地下鉄東西線「東山駅」より徒歩8分

■ 呼びかけ：J A L闘争を支える京都の会

■ 小雨決行 大雨延期

判断がつきかねる場合は駒井まで電話してください。

090-1890-2104 駒井

